

千葉市感染症発生動向調査情報

2021年 第4週 (1/25-1/31) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		4週	3週	2週	1週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	17
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	27
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	1/25-1/31	1/18-1/24	1/11-1/17	1/4-1/10	1/18-1/24
			4週	3週	2週	1週	3週
小児科	RSウイルス感染症		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
	咽頭結膜熱		1 0.06	0 0.00	1 0.06	1 0.06	25 0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4 0.22	4 0.22	3 0.17	5 0.29	55 0.43
	感染性胃腸炎	○	29 1.61	26 1.44	19 1.06	26 1.53	253 1.96
	水痘		2 0.11	0 0.00	1 0.06	2 0.12	9 0.07
	手足口病		0 0.00	1 0.06	1 0.06	0 0.00	1 0.01
	伝染性紅斑		0 0.00	1 0.06	1 0.06	0 0.00	2 0.02
	突発性発しん	○	10 0.56	4 0.22	12 0.67	9 0.53	41 0.32
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.06	1 0.01
	流行性耳下腺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.06	4 0.03
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	7 0.26	1 0.00
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.20	0 0.00
	流行性角結膜炎		1 0.20	0 0.00	0 0.00	5 1.00	4 0.12
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(379件)

※新型コロナウイルス感染症374件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	80歳代	病原体等の検出等	急性脳炎	男性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状の確認
結核	女性	70歳代	病原体遺伝子の検出	クロイツフェルト・ヤコブ病	女性	80歳代	臨床症候
腸管出血性大腸菌感染症	女性	20歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代～90歳代	病原体遺伝子の検出等

・第4週は、結核2件(10)、腸管出血性大腸菌感染症1件(1)、急性脳炎1件(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病1件(2)、新型コロナウイルス感染症374件(1947)の発生届があった。

※ ()内は2021年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

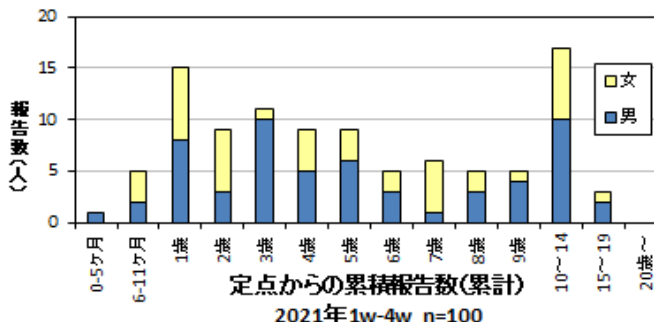
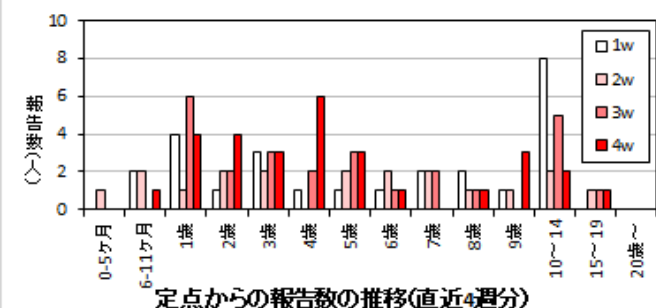
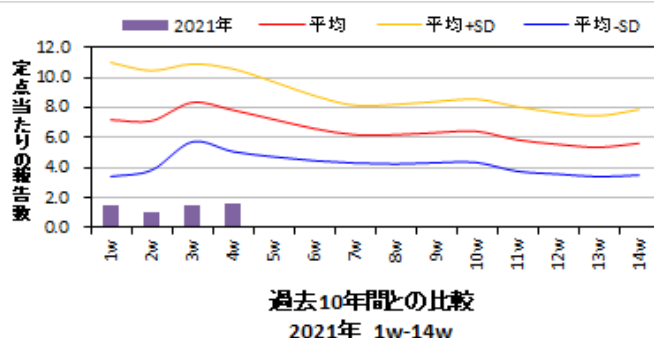
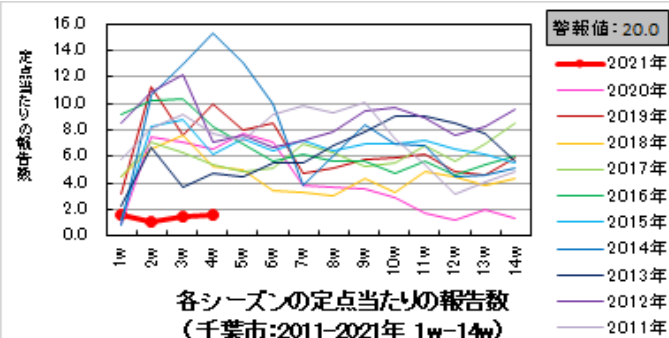
定点当たり報告数 第4週のコメント

<感染性胃腸炎> 前週より増加し1.61となった。過去10年の同時期と比べると少ないが、第2週から連続して増加。
<突発性発しん> 前週より増加し0.56となった。過去10年の同時期と比べるとやや多め。

■ トピック ■

< 感染性胃腸炎 >

全国レベルの第3週の定点当たりの報告数は2.91で、過去10年の同時期と比べると少なくなっていますが、第2週から連続して増加しています。都道府県別では、鹿児島県、宮崎県、大分県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は1.96で、全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の第4週は前週より増加し1.61となりました。過去10年の同時期と比べると少なくなっていますが、第2週から連続して増加しています。区別の発生状況は、若葉区(4.5)で最多で、同区の1歳、2歳及び10歳代前半で多く発生報告がありました。2021年第1週から第4週までの累積報告数は100件で、男性58.0%(58件)、女性42.0%(42件)となっており、年齢階級別では10歳代前半(17.0%:17件)、1歳(15.0%:15件)、3歳(11.0%:11件)の順で多くなっている他、2歳から5歳で増加傾向となっています。



< 突発性発しん >

全国レベルの第3週の定点当たりの報告数は0.37で、過去10年の同時期と比べると少なめとなっています。都道府県別では、愛媛県、熊本県、岩手県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.32で、全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の第4週は前週より増加し0.56となり、過去10年の同時期と比べるとやや多めとなっています。区別の発生状況は、花見川区及び緑区(1.0)で最多で、花見川区で6-11か月及び2歳、緑区では1歳で多く発生報告がありました。2021年第1週から第4週までの累積報告数は35件で、男性54.3%(19件)、女性45.7%(16件)となっており、年齢階級別では1歳(57.1%:20件)、6-11か月(25.7%:9件)、2歳(17.1%:6件)の順で多くなっています。

